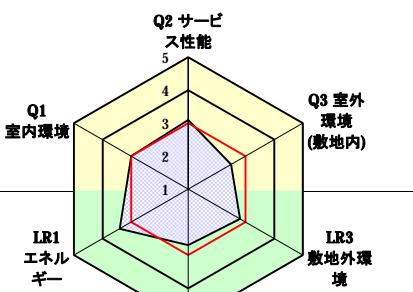
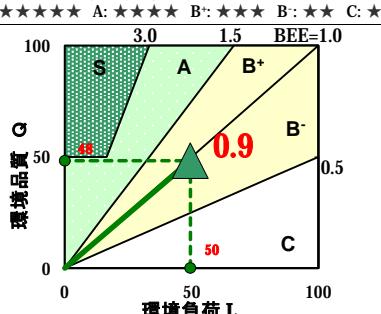
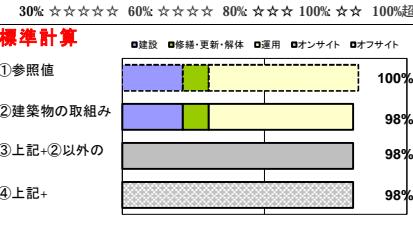
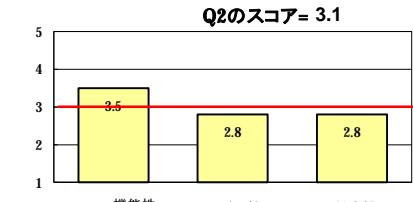
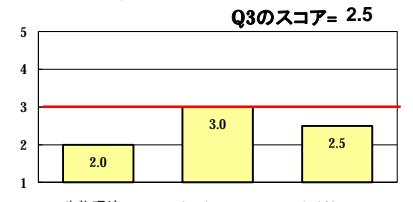
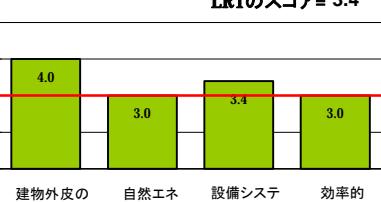
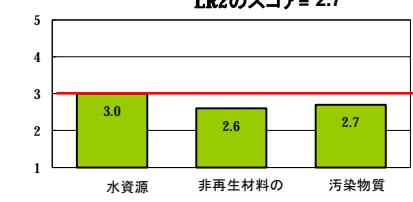
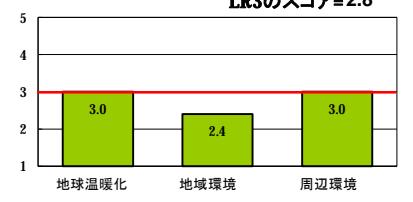


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市青葉丘北新築マンション	階数	地上8F
建設地	大阪府吹田市青葉丘北	構造	RC造
用途地域	1種中高層地域、準住居地域、準防災地域	平均居住人員	268 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2025年12月1日
敷地面積	2,939 m <sup>2</sup>	作成者	(株)M・I設計 弘田 元
建築面積	1,222 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	7,424 m <sup>2</sup>	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
<b>BEE = 0.9</b>  S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★		 30% ★★★★★ 60% ★★★★ 80% ★★★ 100% ★★ 100%超: ★		 Q2 サービス性能: 5 Q1 室内環境: 4 Q3 室外環境(敷地内): 4 LR1 エネルギー: 3 LR2 資源・マテリアル: 3 LR3 敷地外環境: 3	
 BEE = 0.9		 標準計算		このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量の目安で示したもので	
<b>2-4 中項目の評価(バーチャート)</b>		<b>Q のスコア = 2.9</b>		<b>Q3 のスコア = 2.5</b>	
<b>Q 環境品質</b>		<b>Q1 のスコア = 3.0</b>		<b>Q3 のスコア = 2.5</b>	
<b>Q1 室内環境</b>		<b>Q2 サービス性能</b>		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>	
 Q1のスコア = 3.0		 Q2のスコア = 3.1		 Q3のスコア = 2.5	
<b>LR 環境負荷低減性</b>		<b>LR1 エネルギー</b>		<b>LR3 敷地外環境</b>	
<b>LR1 のスコア = 3.4</b>		<b>LR2 資源・マテリアル</b>		<b>LR3 のスコア = 2.8</b>	
 LR1のスコア = 3.4		 LR2のスコア = 2.7		 LR3のスコア = 2.8	
<b>3 設計上の配慮事項</b>		<b>その他</b>			
<b>総合</b>					
外壁はタイルとし、バルコニー手摺はガラスを設置し、デザイン性を高めるとともに周辺環境と調和するように努めました。また、断熱性能を高めることにより、環境にやさしい計画としています。					
<b>Q1 室内環境</b>		<b>Q2 サービス性能</b>		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>	
F★★★★をほぼ全面的に採用している。		外装材にタイルやガラスなど汚れにくい材料を使用しました。設備配管における耐用年数の確保。		特になし。	
<b>LR1 エネルギー</b>		<b>LR2 資源・マテリアル</b>		<b>LR3 敷地外環境</b>	
省エネルギー等級4取得予定。照明器具にLEDを使用。		特になし。		広告物照明を設置する予定なし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.4

【建物概要】 建物名称		(仮称)吹田市青葉丘北新築マンション計画								
建設地		大阪府吹田市青葉丘北								
用途／区分		集合住宅								
【評価結果】	CASBEE 総合評価				B-					
①	CO2削減				3					
②	みどり・ヒート アイランド対策				2					
③	断熱性能				4					
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分			4					
④	エネルギー消費性能				3					
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分			1					
	評価対象外	評価対象外								
⑤	自然エネルギー直接利用									
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱				
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス				
	エネルギー消費量の報告					対象外				
【評価項目】										
項目	評価内容					スコア				
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.0				
② みどり・ヒートアイランド対策						3				
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出				2.0	2				
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0					
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善				2.0					
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制				4.0	4				
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化				3.4	3				
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用				3.0	○				
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-				
その他										
先進的技術の導入			技術の名称		考慮事項					
特に配慮した事項										